Saprophyta gracilis. Caules 6–11 cm alti simplices vel 1–2-ramosi 4-angulares, internodiis superioribus elongatis. Folia squamiformia oblongo-lanceolata 2–3 mm longa. Pedunculus 6–20 mm longus. Flores 1–1.5 cm in diametro caeruleo-violascentes. Calycis tubus brevis late campanulatus; lobi 4 late triangulares acuti 2–2.5 mm longi. Corollae lobi 4 oblongi 5–8 mm longi 1.5–3 mm lati, apice obtusi minute apiculati. Stamina 4 subsessilia; filamenta brevissima lata; antherae flavae lanceolato-oblongae 3–4 mm longae, apice poro parvo dehiscentes, connectivo distincte producto; pollinis grana 7–8 μ longa tricolporata laevia. Stylus 4–5.5 mm longus, staminibus exsertus, crassus subquadrangularis ad basin incrassatus; stigma minutum. Capsula subglobosa ca. 3 mm longa, corolla persistenti obtecta; semina numerosissima minuta obconica, testa reticulata.

Philippines. Luzon: Montalban (A. Loher, Oct. 26, 1895, no. 5189—type in K); ibid. (A. Loher, nos. 4088, 6525 & 6535, K).

Distr. Philippines.

*　　*　　*　　*

Cotylanthera 属はリンドウ科に入れられている小形な腐生植物で，主に東南アジア熱帯に分布している。ヒマラヤではごく稀であるが，1972年にシンガリラ山中で多くの個体を観察することができた (Figs. 1 & 2)。これは *C. paucisquama* C.B. Clarke に一致し，雲南から記載された *C. yunnanensis* も同一種である。またネパール，カトマンズ近くで採集されたものは *C. caerulea* Lace にあたり，この種はタイ，ビルマ，アッサムから見出されている。

一方この属の基準種である *C. tenuis* Bl. はジャワ，スマトラ，ボルネオ，フィリッピン，ニューギネアに広く分布している。更に意外にもフィリッピンに非常に変った新種 *C. Loheri* Hara があることが分った。これは他のすべての種と異なり，雄蕊はほぼ無柄で，葯の先端開口部の一側に葯隔が突出している点で明らかに区別される。

□多和田真淳・高良拓夫：**沖縄の山野の花**　B5版，144頁，カラー写真 161。那覇市大道 212，〒902，風土社，1975年5月15日発行，2,100円。沖縄の植物 161 種についてカラー写真とその解説を付したものである。沖縄の植物に関しては図鑑類が殆んどなく，美しい花を見ても名を調べることは専門家以外には困難であった。沖縄を特徴づける目立つ植物を主にして取上げてある。実物にふれる機会の少ない植物の見事な花や果実が見られて興味深いだけでなく，専門家にとっても貴重な写真が多い。沖縄産のカンアオイ類が殆んど網羅されているのは，この類に関心のある者には見ものである。　(山崎　敬)